

コミュニティ 壬生野

題字

さつきバツグンの
笑しき由香さん
兒玉由香さん
壬生野小6年生
ヤマギシ

ヤマギシだより

『いこの森』に遊びにおいでよ
遊具もあるよ！
(木立の中で、涼しいヨ)
TEL 45・2531

まちをまわりたいね

私は何をすればいいの？

コミュニティ活動を進めていくのは、住民の皆さんの力が
必要です。まず、自分が出る範囲で協力しましょう。一人
一人の力が集まれば、必ず出来ます。

コミュニティってなあに？

一定の地域で共同体意識をもった地域社会のことです。例え
ば、「自治会」「子ども会」「老人クラブ」そして「壬生野まち
づくり協議会」がそれで、壬生野小学校区が私たちの「ミ
ニシティ」になります。

新しい市「伊賀市」が目指しているのは、そこに住む人々
地域社会を創造したり継承していくのは、そこに住む人々

(私たち)です。私たちが想いをもって地域活動に取り組み、
そのエネルギーを高めたとき、きっと魅力のある地域ができ
ます。そのために「住民による自主的なまちづくり協議会」
をつくり、新市と一体となって共生・連携していき、個性あ
る地域形成を目指していくのです。

壬生野にて

熊本 睦美さん(希望ヶ丘)

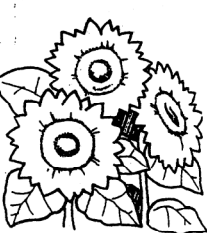
特集

このひと知ってる?!



緑に包まれた壬生野の地に移り住み、多くの方
とお知り合いになることができ、早いもので二十
数年が過ぎました。都会の喧嘩を離れ自然の息吹
や、時の流れを感じながら過ごしてこられたこと
に、感謝しております。緑豊かな自然と共にこの
地で暮らすようになって出会ったものに、伊賀焼

があります。その、なんとも言えな
い落ち着いた色合いと風合い。以前
から憧れていた作陶の場がこんな
身近にあったことに感謝をしました。
そして、和太鼓、『体』全体を包
み込む響きに触れてたくて、現在
『都美恵太鼓』の一員として週二回



その中にどつぷりと浸っています。今は、地域で自分に出る
ことを模索中ですが、防災に関する活動ができればと思ってい
ます。何かの折に声でも掛けていただければ嬉しいです。
日曜日には町内の小学生の子どもたちとソフトボールをして
楽しんでます。(ただ今、チームメイト募集中なので興味のある
子は気軽に見に来て下さい。西柘植小九時~十二時)



絵手紙

澤野憲太郎さん

残暑お見舞い
申し上げます

壬生野地域まちづくり協議会

♪ 行政からひとこと ♪

地域で生活する全ての人々が主体となった、安全・安心の
まちづくりが始まります。行政はその受け皿となる「まちづ
くり協議会」の活動に対して積極的な連携・支援を行います。

♪ 伊賀町役場地域振興プロジェクト♪

＜募集コーナー＞

まちづくりでは、みなさまより各種ご要望、ご提案を募集し
ております。また、今回は特に11月3日実施予定の『もみ
じまつり』へのご意見をお待ちしております。

応募方法は、

最寄りの連絡先か、メールでご応募下さい。

◇壬生野地域自治推進グループ事務局

【E-mail:mibuno@town.iga.mie.jp】

◇携帯メールアドレス

mibuno.320@docomo.ne.jp



具体的に実施日が決まりましたら広く皆さんへ参加を呼びかけます。

協議会の今

部会の計画策定もまよめの段階に入り、いよいよ「策定版を作
る」ところまで来ました。

「まだまだいろいろプランや考えもあるだろうが実施してい
く中でプラスαしていけばよい」―策定委員の声

十月ごろに各戸配布の予定。具体的活動については各部会の優
先課題を参考に！

手始めに取り組みたい活動をそれぞれの部会長に聞いてみました。

分権自治

まちづくりの意見・要望を地域ごとに懇談会をして聞きたい。

人権

学校への出前研修と地域での研修会を合わせてやっていきたい。

健康福祉

高齢者宅への友愛訪問の実施

生活環境

河川敷の整備

産業交流

青空市場「地産地消」の実施



□最寄りの連絡先□

北村武久(山畑)	澤野憲太郎(川東)	福西信也(川西)	高橋久男(西之澤)
TEL 45-2931	TEL 45-3326	TEL 45-2775	TEL 45-2496
舘志蔵(希望ヶ丘)	谷口靖(川西青葉台)	森田勇(春日丘)	北大路順信(仙峰)
TEL 45-2656	TEL 45-7231	TEL 45-4583	TEL 45-2531

「十一月一日開設に向けて」

計画策定委員の多くより早くから声が上がった、「まちづくりの拠点」は、「壬生の里」施設での活動拠点として地域住民の認識もあり、その実施に向けた「壬生野まちづくりセンター」設置（検討委員会）を早急に立ち上げようとの動きがある。これは住民によるルールと自主管理によって自立している活動はもとより、その他には、

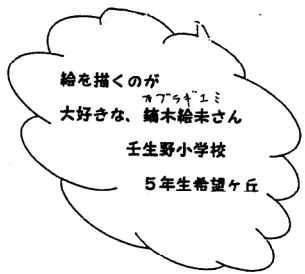
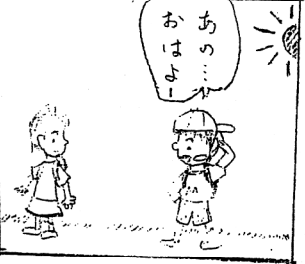
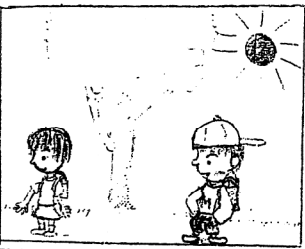
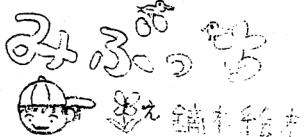


1. まちづくりの総合窓口
 2. 各地域情報の共有化
 3. 住民のよろず相談窓口
 4. 広報誌の編集
 5. ホームページの開設
 6. ミニサービス充実
 7. シルバー喫茶
 8. 各種趣味のサークル利用
 9. 図書コーナーなど多目的活用が期待されている。
- まちづくりセンターとしての機能と運営について、八月十九日の運営委員会で話し合われる。



広報「コミュニティ」壬生野がリニューアル

コミュニティ壬生野がリニューアルしました。これまでは、役場の地域振興チームが発行していましたが、これからは壬生野まちづくり協議会が主体となって発行していきます。新しいコミュニティ壬生野では、地域の情報、皆さんの声をどんどん取り上げていきたいと思えます。今後ともよろしくお願ひ致します。



絵を描くのが大好きな、楠木結未さん
壬生野小学校
5年生希望ヶ丘



☆アンケートよりー 三十歳代女性

公民館を常時開放し、ちょっとお茶が飲めたりオセロとかゲームが出来たりできるようにしてほしい。
希望ヶ丘や青葉台に対して「よき者」扱いをする意識を改善してほしい。

昔ながらの「じがらみ」を見直して良い部分だけ残してほしい。こつこつた協議会を行政主導で動員させるのではなく、たとえ少数でもいいので自主的に参加する人のみで構成すべきだと思う。参加しない出来ない人の意見も見殺しにはしないでほしいと思う。

☆アンケートよりー 十歳代男性

川西にもっと大きなグラウンドを作ってほしいです。大人、小人とちうのためになるからです。

“声”



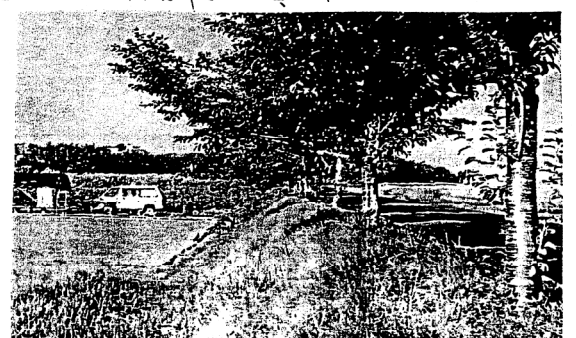
☆アンケートよりー 五十歳代女性

市町村合併に伴い伊賀町婦人会の存続が危ぶまれています。万が一上部組織がなくなった場合、これまでその地区でたってきた女性の役割はどのように組織化された中で、担っているのでしょうか。これまでの婦人会とは構成内容が変わるとしても、せめて壬生野地域でのまとまりのある組織として存続していくことが必要ではないかと思えます。当協議会はこのことについて今後検討していただくことを希望します。
(壬生野地域の婦人会と協議会との「協働」が、今後まちづくりの不可欠な予想されます。ぜひ、存続を！ まじがりのみり)

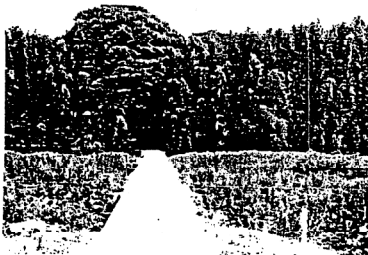
特集 ここはどこ？

=フィールドワーク=

この写真を見てどこか分かるかな？
西之澤の住民は、子どもたちも含めてみんな分かると思います。上川原の潜水橋から見た大和街道植樹十年百本のソメイヨシノの並木、そして柘植川の河川敷を撮った写真です。春には満開の桜が通る人の目を楽しませてくれます。



「この河川敷を美しく整備してほしい！」こんな思いは、地区民だけでなく多くの人が持っていると思います。春には花見、夏には親子で水遊びを楽しんだり、釣りをしたり、子どもも大人も、そして町内だけでなく阿山町の人たちも一緒にグラウンドゴルフを楽しめる、そんなみんなのための広場がほしいですね。行政も予算をやりくりして一生懸命努力してくれています。そんな行政の手助けをしたり、わが町を自分たちの手でより良くしたりしていくのが、わたしたち



『町づくり』の仕事です。壬生野地区にはブルドーザーなど重機の免許を持った方がたくさんおられると思いますし、『町づくり』で機械をリースして、休みの日には多くのボランティアの方にご協力いただき、手作業する人、機械に乗る人、みんなの力で広場が出来たらすばらしいことだと思います。

西之澤 高橋久男さん

あとがき

はじめて広報の編集に携わり多くの方々のご協力により発行できましたこと、ありがとうございます。
「コミュニティ」壬生野が少しでも多くの皆様の目にとまるように続けていきたいです。

広報部では、各地域スタッフを募集しています。楽しい広報づくりにあなたも参加しませんか。待ってます。(たち)